

いすみ資源循環リサーチセンター	
題目	いすみ市における研究展開に関する報告
著者	岡田久典
1. 研究概要 いすみ市は東京から特急で1時間10分ほどで行き来でき、自然が豊かなことから、各種調査の「住みたい田舎ランキング」で上位にランキングされるなど、移住政策の先進地域として認知されている。農業と漁業も盛んで、地方創生のモデル的な自治体となっている。 本リサーチセンターでは、いすみ市における資源循環調査として、2018年度に「竹林・里山等の整備計画策定業務」および「廃棄物堆肥化循環モデル構築に関する調査」を請け負ってきた。前者は、いすみ市における木質バイオマスの利用可能性を調査し、その利活用を提案すると共に、課題を整理する。具体的な検討設備は、地域の竹の利用を中心とする竹ボイラーの導入。および、バイオマスチップ、もしくは薪の形態のまま活用する市有施設、ハウス農家への小規模バイオマスボイラーの導入の検討を行った。後者は、いすみ市内の主要な5つの廃棄物を対象に、堆肥化による循環モデルを構築し、そのFSを行った。現状の課題としては、焼却処分によりコストとCO2排出量が多い点であり、廃棄物によっては前処理に大きな時間と労力をかけている点がある。こうした課題を受け、現在いすみ市で行っている堆肥センター事業と連携し、上記のコスト、CO2、前処理の手間を削減する機器の導入提案を行ってきた。 2. 本年度の活動 2024年度の研究は、これらの研究成果を活用し、いすみ市などの地域産業の振興について2回の研究会を実施した(共催、単独)。 第1回研究会 「大学とイオン環境財団の連携による地域課題対応と人材育成 ～いすみ市の事例を中心に～」 講演者 岡田久典 場所 千葉県千葉市の全国市町村アカデミー 日時 2024年6月13日 14:15～15:25 全国市町村アカデミーとの共催で実施し、全国の循環産業振興担当者など100名が参加した 第2回研究会 「いすみ市を中心とした里山メカニズムの構築と全国の動向」 講演者 柳沢貴雄(里山形成専門家)、梶山正信(招聘研究員)、青木信之(写真家)、岡田久典 場所 早稲田大学 3-608 日時 2025年1月16日 参加者 学生ら15名 地域を維持し、次の世代に継承していくためには、地域での	「しごとづくり」が不可欠である。そのためには、行政が地域住民等と連携して、地域資源の発掘・磨き上げと他分野との組み合わせを通じて高付加価値化を進める「農村発のイノベーション」が内発的に展開されることが不可欠である。 「農村発のイノベーション」が進む地域を多面的に分析することを昨年度にひきつづき、専門家の協力を得て実施した。いすみ市のキャッチコピーは「何もないがある」とされている。 何もないのに何故移住したい街 No.1なのか、何故そんな街を移住者が目指してくるのか、何故小商いが盛んなのか、何故メディアに取り上げられるのか、どこにそんな人材がいるのか、こうしたことを分析していった。 後継者が確保できず黒字でも倒産する地域産業が増加することは、地域力の減退を招き、自治体の基礎体力を奪っている。 そこで、廃校・古民家等の地域のあるものを活用しての地域産業との共生をはかっていくことが重要である。この地域では1日1組最大84名宿泊できる施設に生まれ変わり、地域経済循環の拠点となった事例があり、それらにならって廃校や刑務所跡地などの公共施設や地域の古民家を活用し、全国で地域産業の活性化に取り組む必要がある。 また、特産品開発、観光、移住、ふるさと納税等、選ばれる自治体には、マーケティング志向が不可欠である。地方創生に不可欠なマーケティングについて、より一層の研究開発が必要である。来年度では地域活性学会域学連携部会との協働を進めて行く。 3. 活動の総括 いすみ市の研究は、地域資源の循環活用を通じた持続可能な地方創生のモデル構築に寄与した。その中で、バイオマス利用や廃棄物の堆肥化などの資源循環の取り組みは、環境負荷の削減と地域経済の活性化を両立する重要な施策の提案となった。また、「農村発のイノベーション」では、地域資源を高付加価値化し、地域産業との共生を図ることが求められる。さらに、マーケティング視点を取り入れた戦略的な地域活性化の必要性が明らかとなり、地域住民や行政が一体となる持続可能な取り組みが不可欠となった なお、本リサーチセンターの取り組みは、AEON TOWA リサーチセンターのめざす「イオンの里山」の候補地として親和性があり、その検討を進めてきた。しかしながら候補地は別なところが選定された。 本リサーチセンターでは、いすみ市の地方創生における優位性というだけでなく、資源循環という観点を加えて、そのポテンシャルの再評価を行った位置づけとなるが、これらの調査を経て、一定程度の成果が出たものとして、リサーチセンターの設置を終了する。